

子ども発達学科教授 星 三和子

1. 研究活動

論文			
フランスの子育て支援拠点事業の変遷と現在	2013. 1	日仏教育学会年報 第 19 号 73-83	フランスの子育て支援事業のひろば事業は日本より 30 年早く始められ、その目的や支援運営主体は変遷をたどってきた。その経過によって現在ある支援施設には違いがみられる。その異なる現場の観察から、日本の子育て支援事業への示唆を考察した。
イタリア、ピストイア市の統合的な乳幼児教育：「素材」を使った教育活動の発達の意義	2014. 3	名古屋芸術大学研究紀要 第 35 巻 313-330	共著者：星三和子、上垣内伸子、向井美穂。ピストイア市の 0 歳から 6 歳までの一貫した統合的教育と日常的な素材を使った芸術的な保育活動について、実際の観察からの活動エピソードを分析して、考察した。
報告書			
イタリア、ピストイア市の協働による統合的な乳幼児教育—インタビュー調査資料集—	2014. 2	平成 25 年度科学研究費助成研究中間報告書	イタリア、ピストイア市の教育関係者 17 人への聞き取り調査の記録集。
学会・セミナー発表			
子育て支援の国際比較：フランスとの比較からみる日本の特徴	2013. 5. 11	日本保育学会第 66 回大会発表論文集. p.831	共著者：星三和子、塩崎美穂、向井美穂、上垣内伸子。フランスの子育て支援現場の観察記録からの子育て支援の分析と日本との比較
子育て支援におけるリスク支援—地方保育園型の観察から	2013. 5. 12	日本保育学会第 66 回大会発表論文集. p.962	共著者：塩崎美穂、星三和子、上垣内伸子、向井美穂。子育て支援において子育て上の困難をもつ親への支援について、地域共同体を生かした保育園の支援の事例を検討した。

協働の保育 (2) イタリア、ビストイアの子育ち・子育て支援	2013. 5. 12	日本保育学会第 66 回大会発表論文集. p.968	共著者：上垣内伸子、星三和子。 イタリアのビストイア市の子育て支援施設である AREA ROSSA の職員への聞き取り調査の結果の報告
乳児における意図の相互の読み取り	2014. 3. 22	日本発達心理学会第 25 回大会発表論文集. P.200	共著者：星三和子、大竹信子。 0～1 歳児の相互作用の過程で相手の意図を読み取る行動がどんな状況でどのような手がかりによって成立するかを観察し分析した。
乳児間の交渉における意図のずれと修正	2014. 3. 22	日本発達心理学会第 25 回大会発表論文集. P.201	共著者：大竹信子、星三和子。 0～1 児の相互作用において、互いの意図のずれはどんな時に起き、それを修正することができるか、修正のために何をするかを観察し分析した。
Child-Rearing Support Services for Mothers with Difficulties in Collaboration with Facilities and Human Resources in Local Community	2013. 8. 28 ～ 8. 31	23 th Conference of European Early Childhood Education Research Association, Tallinn University, Estonia.	共著者：Mukai, M., Kamigaichi, N., Hoshi-Watanabe, M. & Shiozaki, M. 子育てと生活の困難をもつ親子への支援についての事例研究。地域コミュニティの利用および地域の人的資源の活用による支援について論じた。
Children under three years old's looking behaviors in their peer interactions in terms of their social and cognitive development	2013. 9. 6	16th European Conference on Developmental Psychology, Lausanne	共著者：Ohtake, N. & Hoshi-Watanabe, M. 3 歳未満児同士の相互作用において、相手の目を見る行動に焦点を当て、コミュニケーションの発達および認知発達における互いの目を見る行動の意味を観察記録より探った。
Kosodate-shien centre in Giappone: Sviluppo locale e investimento nazionale nei servizi per l'infanzia in Giappone	2013. 10. 25	Seminario: I Centri per Bambini e Famiglie : un'opportunita per bambini et genitori nella societa di oggi. Centri Nazionale di Roma. Aula Marconi, Piazzale Aldo Moro 7.	子育て支援に関するイタリアの学会セミナーにて、日本の現状と困難をもつ親子の支援について発表。フランス語による発表。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目 ゼミナールⅢ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
保育職志望の学生のために、特色ある保育所、乳幼児療育施設、親子通所施設等見学を取り入れた。また、付属幼稚園で、各自が一人の子どもを 1 時間追跡し観察する実践的演習を行った。その前後にフィルムを多用して、観察の視点を養った。	実践、フィルム

授業科目 学習心理学	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
パワーポイントと配布資料、フィルム等を使い、専門用語の多い授業をわかりやすくする工夫を用いた。	パワーポイント、心理学の歴史的フィルム等フィルム資料。

3. 学会等および社会における主な活動

名古屋市名古屋市立保育所研修講演会 講師	2013. 7. 26	名古屋市役所子ども課主催の現任公立保育所保育士研修講演として、「〈多様性の尊重〉が鍵：ヨーロッパの保育から多文化共生を考える」の題で講演を行った。
-------------------------	-------------	---